

令和6年度 経営改革プラン

団体名	神戸ハーバーランド株式会社		
設立年月日	昭和63年4月11日		
団体の設立目的・沿革	ハーバーランド地区を、高度情報化社会に対応するための情報発信拠点として、「株式会社神戸ハーバーランド情報センター」として設立。平成20年7月には社名を「神戸ハーバーランド株式会社」に変更し、地区活性化のため、地区管理事業、来街促進事業等を実施している。		
団体の主な事業内容	事業名	所管局	
	不動産賃貸事業	自主事業	
	エリアマネジメント事業	都市局駅まち推進課、自主事業	
	情報サービス事業	企画調整局デジタル戦略部、自主事業	
代表者	代表取締役社長 小林 隆一郎		

役職員数 (令和5年7月時点)	取締役		監査役		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	1	-	-	-		7	8
神戸市派遣職員	-	1	-	-		-	1
神戸市OB職員	-	-	-	-	1		1
その他	1	7	-	2	2	-	12
合 計	2	8	-	2	3	7	22

財務状況 (単位：百万円)	令和4年度	令和3年度	差引
経常損益	19	7	12
税引後当期純利益	13	3	10
販売費及び一般管理費	101	105	▲ 4
流動資産	467	515	▲ 48
流動負債	110	71	39
長期借入金 (固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	377	480	▲ 103

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	ハーバーランド地区の活性化に向けたエリアマネジメントの推進
ミッション②	民間事業者主体のエリアマネジメント推進体制の構築
ミッション③	エリアマネジメントを推進するための経営基盤の強化

■短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	持続可能なエリアマネジメントに向けた効果的な事業の推進
ミッション②	関係団体等との連携によるまちの活性化
ミッション③	収益施設の利活用促進による収益の確保

■経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減	令和3年度実績 中小企業実態基本調査 による業種別平均値
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.276	1.292	1.0ポイント	-6.181
	経常費用 人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	20.62%	17.18%	▲3.4ポイント	16.38%
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	0.34%	0.90%	0.6ポイント	2.61%
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	64.30%	81.08%	16.8ポイント	79.63%
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	725.63%	424.04%	▲301.6ポイント	190.67%
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	91.91%	90.18%	▲1.7ポイント	41.84%
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	0.15%	0.69%	0.5ポイント	-13.95%
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産) /当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	95.11%	0.69%	▲94.4ポイント	6.22%

■ ミッション工程表

ミッション名		令和6年度						令和7年度～					
中長期的ミッション													
①	ハーバーランド地区の活性化に向けたエリアマネジメントの推進	ハーバーランド地区のエリアマネジメントを効果的に推進する											
②	民間事業者主体のエリアマネジメント推進体制の構築	ハーバーランド運営協議会に加盟している地区内の民間事業者と連携を強化して、エリアマネジメントを進めていく											
③	エリアマネジメントを推進するための経営基盤の強化	センタービルの入居率100%の維持、収益施設の稼働率の向上による収益力の強化を図る											
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
①	持続可能なエリアマネジメントに向けた効果的な事業の推進	評価指標に基づく事業の見直し・改善を踏まえた効果的な事業の推進											
②	関係団体等との連携によるまちの活性化	元町、新聞地、メトロこうべ、ウォーターフロント等の団体と連携し、幅広い年代を対象としたイベント事業等の実施や情報発信											
③	収益施設の利活用促進による収益の確保	センタービルの入居率100%の維持、煉瓦倉庫の集客力の強化及びスペースシアター・ハーバービューの稼働率向上											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	団体目標	<p>ハーバーランドへの来街者数を、コロナ禍前の水準から向上させ、さらなるまちの活性化に取り組んでいく。</p> <p>【数値目標】（令和7年度までに）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センタービル入居率：100%の維持 ・スペースシアター使用料収入：R4年度11,217千円 → 25,000千円 ・煉瓦倉庫駐車場収入：R4年度22,930千円 → 27,000千円
		<p>・来街者の基礎データに基づいて性別、年代、時間帯をエリア毎に分析して、効果的な広報・イベント企画に活用する</p>
		<p>・入居率100%を切れ目なく維持するため、テナントへのサービス向上（LED化等）やリーシング業者等との情報共有や連携を図る。</p>
		<p>・令和5年度に過去最高となったスペースシアターの使用料収入を、施設の優位性（全天候型、空調、駅直結、ハーバービジョンとの連動）によりさらに向上させていく。</p> <p>・ハーバービューを活用し、地区内の観光・イベント情報等の放映による当地区のPRを随時発信し、活性化していく。</p>

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	